

株式会社エクストランス

# X-MON 3.0.7

アップデート内容

## 内容

---

機能追加 .....	4
簡易レポートの強化 .....	4
ホストコメントやサービスコメント、イベントログ情報をレポートに追加表示 .....	4
生成したレポートの保存機能 .....	6
レポートの定期生成 .....	7
監視プラグインの追加 .....	8
Hyper-V 監視 .....	8
AWS 監視 .....	11
CSV ファイルのアップロード .....	14
監視用コマンドの設定内容の表示 .....	15
MIB ファイルの追加 .....	15
カスタムグラフの追加 .....	16
グラフチューニングの追加 .....	17
監視パッケージ機能強化 .....	18
ショートカット機能 .....	19
ホストの設定一括変更でロゴイメージが変更可能 .....	20
変更箇所 .....	21
MENU 画面の変更 .....	21
ヘッダーアイコンの変更 .....	22
Nagios Core アップデート .....	22
ユーザ追加時の必須項目を変更 .....	22
重大な不具合 .....	23
不具合の修正 .....	24
監視・通知における修正 .....	24
サービス一覧表示 .....	24
ホスト/サービス情報 .....	24
外部コマンド .....	24
Web 改ざん警告管理 .....	24
Windows イベントログ警告管理 .....	24
設定における修正 .....	25
ホスト管理 .....	25
設定一括変更 .....	25
ユーザ管理 .....	25
アイコン管理 .....	25
SNMP TRAP 管理 .....	25
構成管理 .....	25
グラフ表示関連の修正 .....	25

バージョン 2.2 からのコンバート処理の修正 .....	25
その他修正.....	26

## 機能追加

X-MON バージョン 3.0.7 で以下の機能を追加しました。

### 簡易レポートの強化

簡易レポートでは大きく分けて、以下の大幅な機能追加を加え強化しました。

- ホストコメントやサービスコメント、イベントログ情報をレポートに追加表示
- レポートの保存機能
- レポートの定期生成機能

### ホストコメントやサービスコメント、イベントログ情報をレポートに追加表示

レポートの生成は、ウィザード形式に変更しています。

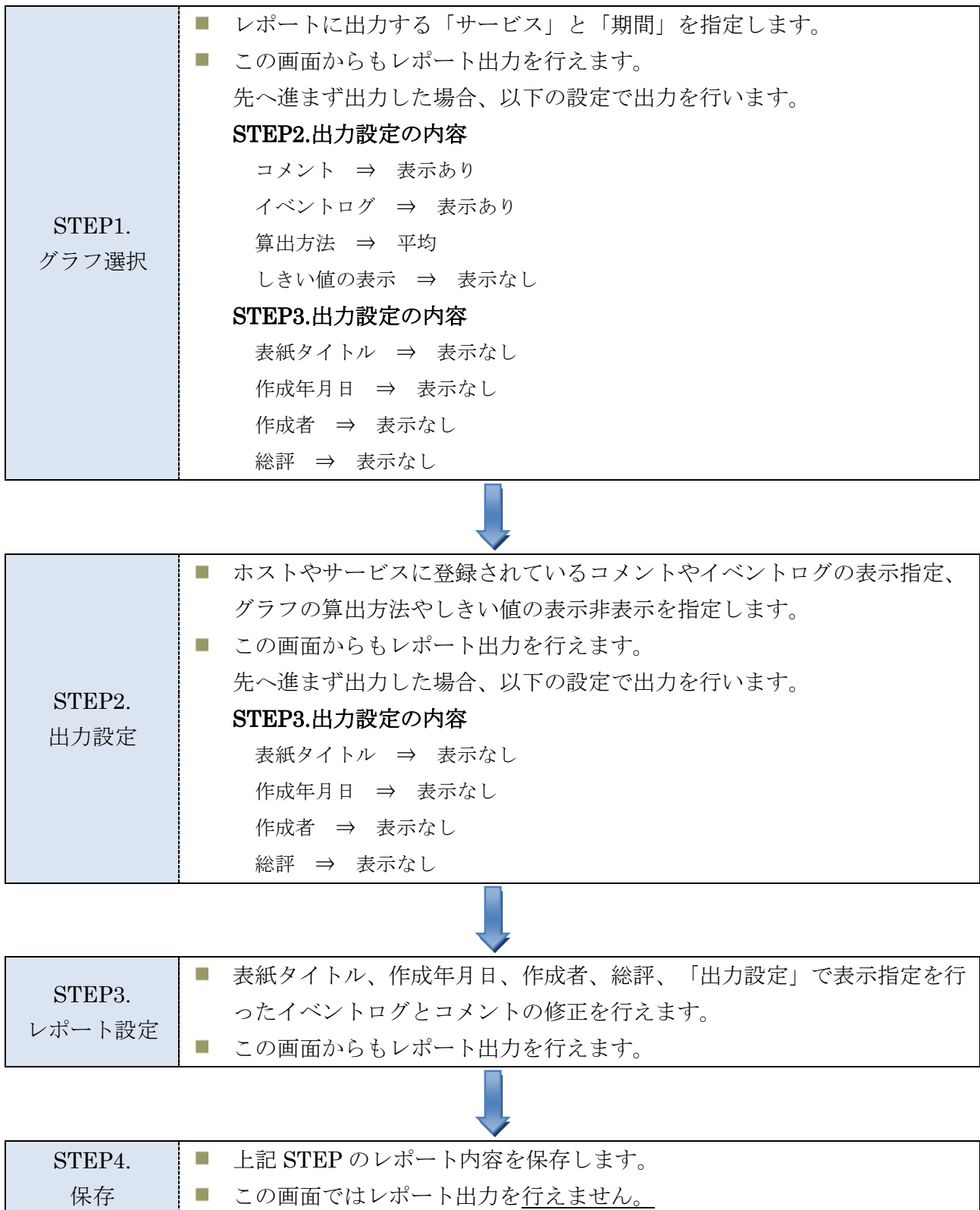
表紙タイトルや作成者、総評といった 3.0.6 で備わっていた入力欄に加え、ホスト情報やサービス情報で追加したコメントやイベントログの出力指定を行えます。



#### ウィザード形式

レポート出力内容を各 STEP で指定していきます。  
最後の画面まで進む必要なく、レポート生成を行えます。

各 STEP で指定できる内容は次ページをご確認ください。



## 生成したレポートの保存機能

レポートには保存機能を新たに追加しています。

個人での使用を目的としたレポート保存、システム管理者・運用責任者・オペレータが共有できるレポート保存、レポートの定期生成用に保存が行えます。

保存したレポートにつきましては、編集が可能です。但し、レポートを編集される際には以下の点にご注意ください。

- 期間指定及びグラフの算出方法又はしきい値の表示を変更した場合、グラフの再生成を行います。対象のサービスが既に削除されている場合、グラフの出力が行えません。
- 上記の設定を変更しない場合、グラフの再生成は行いません。保存時の情報を使用します。
- 新たに追加されたサービスのイベントログおよびコメントは表示を行いません。取得する場合は、再取得を行う必要があります。

また、レポートを共有する場合、対象レポートのロック機能を追加しています。


ロックを行うと編集できません。

この**ロック機能**を使用する事で対象レポートを「完成版」として保存しておくことが可能です。

保存されたレポートは「レポート閲覧」より確認できます。

**公開**

- ... 他のユーザに公開しない
- ... 全てのシステム管理者、運用責任者、オペレータユーザに公開する  
または指定したユーザグループに公開する
- ... 上記「」を「編集のロック」項目で編集を許可しない状態に指定する



名称	公開	最終編集日時
株式会社■提出資料		2013年05月22日 11時22分50秒
株式会社○提出資料(途中)		2013年05月22日 11時22分06秒
株式会社▲提出資料		2013年05月22日 11時21分33秒
一時確認用資料		2013年05月22日 11時21分20秒

**編集ロックの解除**

システム管理者と運用責任者のみ表示されます。  
解除を行うと、再編集、及びメール通知が行えます。

また、ロックを掛ける際に対象ユーザにメールを送信し通知する機能があります。  
「ロック時」、または「ロック後の任意のタイミング」どちらか選択できます。

**通知履歴**  
対象のレポートで送信された通知時刻や通知先、通知内容が確認できます。

名称	公開	最終編集日時
株式会社■提出資料	公開	2013年05月22日 11時22分50秒
株式会社○提出資料(途中)	公開	2013年05月22日 11時22分06秒
株式会社▲提出資料	公開	2013年05月22日 11時21分33秒
一時確認用資料	公開	2013年05月22日 11時21分20秒

**メール通知**  
対象のレポートに関連づいた通知先へ、メール通知を行います。

## レポートの定期生成

定期生成では、1 ヶ月、1 週間、1 日の期間指定を行いレポートの定期生成を行います。  
生成時にメール通知を行うことが可能です。

定期生成の設定内容で「期間指定」が現在の日付より過ぎてしまっている場合、来月や来週実行となります。以下例をご確認ください。

例)定期生成設定日：5月17日の場合

指定方法：月次、毎月 **1** 日から1 ヶ月

⇒ 次回生成日時 6月1日深夜2時に実行

指定方法：月次、毎月 **28** 日から1 ヶ月

⇒ 次回生成日時 5月28日深夜2時に実行

また、月次、週次の生成は深夜2時に行います。

## 監視プラグインの追加

---

### Hyper-V 監視

---

ハイパーバイザ Hyper-V の監視を追加しました。

Hyper-V の監視は WMI (Windows Management Instrumentation) を使用し、監視を行います。

- Hyper-V CPU 監視
- Hyper-V ゲスト CPU 監視
- Hyper-V ゲストストレージデバイス(エラー)監視
- Hyper-V ゲストストレージデバイス(読み取り/書き込み)監視
- Hyper-V ステータス監視
- Hyper-V 仮想スイッチ受信量監視
- Hyper-V 仮想スイッチ送信量監視

Hyper-V 監視のサービス登録を行う際に、仮想マシン名や仮想スイッチ名の確認を簡単に行えます。

※ ホスト登録時に種別を「Hyper-V」にし、WMI の接続アカウント名、接続パスワードを入力しておく必要があります。

また、Hyper-V では重複した仮想マシン名、仮想スイッチ名を作成可能ですが、それぞれの判別が難しいため重複しているものは監視を行えない仕様としておりますのでご了承ください。



**X-MON** - 管理者がログインしています。(2013/04/19)

★ サービスの作成

↓ すべて開く

※

基本設定

ホストID(英数字)  
Hyper-V

サービスID(英数字)  
CPU

サービス監視用コマンド

Hyper-V監視

Hyper-V CPU監視

接続アカウント名 kanshi\_user

接続パスワード ●●●●●●●●

WARNINGしきい値(%) 80

CRITICALしきい値(%) 90

通知先グループ

↑(選択) ↓(外す)

**Hyper-V 管理**

Hyper-V 監視を選択すると、  
[ 引数に設定する値の確認 ]ボタンが表示されます。  
[ 引数に設定する値の確認 ]ボタンをクリックすると  
仮想マシン名、仮想スイッチ名を簡単に確認できる  
Hyper-V 管理画面へ遷移します。

「Hyper-V 管理」画面では、コンピュータ名、仮想マシン名、可能マシンの状態、稼働時間、インストール日時、仮想スイッチ名の確認を行えます。


同一の仮想マシン名、仮想スイッチ名が存在する場合、監視を行えない為、重複している場合は警告表示を行います。

Hyper-V管理

仮想マシン状況

監視対象 Hyper-V に登録されている仮想マシンの総数と  
其々の状態数を表示します。

以下の仮想マシン名、またはコンピュータ名が重複しています。  
正常に値を取得できない可能性がありますので、同一名ではないものに変更してください。  
・ X-MON

 **Hyper-V(Hyper-V)**  
IPアドレス:192.168.10.66  
  
コンピュータ名 : DEVHYPER-V

全仮想マシン数	実行中	オフ	一時停止	不明	保存完了	その他
5	1	4	0	0	0	0

仮想マシン名	状態	稼働時間	インストール日時
X-MON	実行中 (Enabled)	03日間と10時間12分32秒	2013-05-22 09:42:07
duplicationVM	オフ (Disabled)	-	2013-05-22 09:39:38
X-MON	実行中 (Enabled)	01日間と23時間03分21秒	2013-05-22 09:41:34
duplicationVM_rename	オフ (Disabled)	-	2013-05-22 09:39:23
CentOS	実行中 (Enabled)	00日間と20時間22分10秒	2013-05-22 09:43:28

仮想マシン・仮想スイッチ

監視対象 Hyper-V に登録されている仮想マシン名と  
仮想スイッチ名を表示します。

また、「Hyper-V 管理」画面は「ホスト一覧」画面からも遷移を行えます。



The screenshot shows the X-MON interface with a list of hosts. The 'Hyper-V' host is selected, and a callout box titled 'Hyper-V 管理' provides instructions: '[Hyper-V 管理] ボタンをクリックするとサービス監視用コマンドに表示されている [引数に設定する値の確認] ボタンをクリックした時と同様の Hyper-V 管理画面へ遷移します。'

Host Name	Icon	Host ID	IP Address	Status
hub1	Hub icon	hub1 203号	192.168.0.1	有効: 0, 無効: 0
hyogo.x-trans.jp.local	Hyogo icon	兵庫サーバ	219.106.243.102	有効: 6, 無効: 1
Hyper-V	Windows icon	Hyper-V	192.168.10.66	有効: 0, 無効: 0
kyoto-router	Router icon	京都ルーター	192.168.19.3	有効: 0, 無効: 0
kyoto-switch	Switch icon	京都スイッチ		
kyoto.x-trans.local	Hyogo icon	京都サーバ		
MAIN-server	Server icon	MAINサーバ		

## AWS 監視

AWS(Amazon Web Services)の監視を追加しました。

AWS の監視では Amazon が提供している CloudWatch と連携して値を取得し、監視を行います。

CloudWatch では値を 2 週間しか保持することができませんが、X-MON で監視を行うことで 2 年間値を保持することが出来ます。

- AWS/EC2 CPU 使用率監視
- AWS/ELB 無効インスタンス数監視
- AWS/EC2 DISK 書込回数監視
- AWS/ELB 有効インスタンス数監視
- AWS/EC2 DISK 書込量監視
- AWS/RDS CPU 使用率監視
- AWS/EC2 DISK 読込回数監視
- AWS/RDS DB 接続数監視
- AWS/EC2 DISK 読込量監視
- AWS/RDS DISK 書込監視 (IOPS)
- AWS/EC2 受信トラフィック量監視
- AWS/RDS DISK 書込監視 (スループット)

- AWS/EC2 送信トラフィック量監視
- AWS/ELB HTTP コード監視 (バックエンド・2xx)
- AWS/ELB HTTP コード監視 (バックエンド・3xx)
- AWS/ELB HTTP コード監視 (バックエンド・4xx)
- AWS/ELB HTTP コード監視 (バックエンド・5xx)
- AWS/ELB HTTP コード監視 (ロードバランサ・4xx)
- AWS/ELB HTTP コード監視 (ロードバランサ・5xx)
- AWS/ELB リクエスト数監視
- AWS/ELB 反応速度監視
- AWS/RDS DISK 書込監視 (レイテンシ)
- AWS/RDS DISK 読込監視 (IOPS)
- AWS/RDS DISK 読込監視 (スループット)
- AWS/RDS DISK 読込監視 (レイテンシ)
- AWS/RDS SWAP 使用量監視
- AWS/RDS 空きストレージ監視
- AWS/RDS 空きメモリ監視
- AWS/RDS ログ監視

AWS の監視を行うため、新たにホスト設定内に AWS 設定のセクションが追加されました。

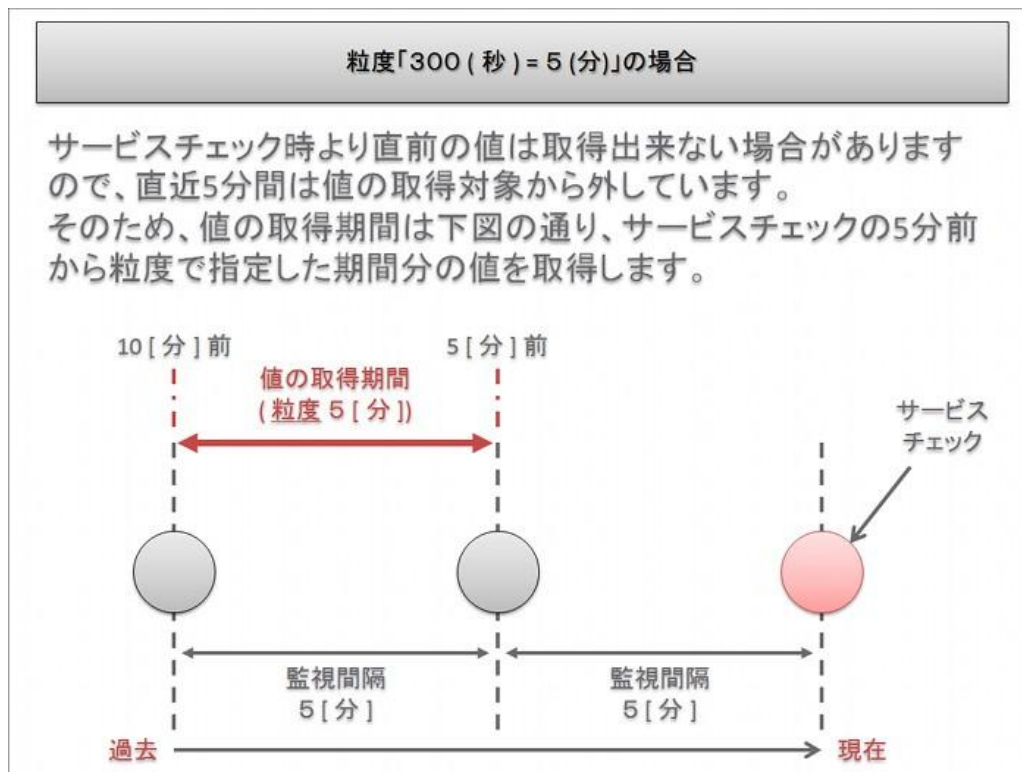
The screenshot shows the X-MON web interface. The top navigation bar includes the X-MON logo, a user login status, and a timestamp. The main content area is titled 'ホストの作成' (Host Creation) and contains several configuration sections: '基本設定' (Basic Settings), 'SNMP認証設定' (SNMP Authentication Settings), 'WMI認証設定' (WMI Authentication Settings), and 'AWS設定' (AWS Settings). The 'AWS設定' section is expanded and highlighted with a blue border, showing fields for 'AWS・アクセスキー' (AWS Access Key), 'AWS・シークレットキー' (AWS Secret Key), 'リージョン' (Region) with a dropdown menu set to '指定なし' (None), and 'インスタンスID' (Instance ID). At the bottom of the interface, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '作成' (Create), '作成と承認' (Create and Approve), and '詳細な設定へ進む' (Go to Detailed Settings).

## 粒度とは

AWS の監視では、監視コマンドの設定に「粒度(秒)」項目の設定が存在します。

プラグインが実行された際、現在の値を取得しに行くわけではなく、蓄積された値より指定された粒度分毎に、平均、最大、最小を計算して値を取得します。

つまり、平均値、最大値、最小値を計算する期間を指定するのが粒度となります。



※ 粒度は、最低 60 の指定をお願い致します。

## CSV ファイルのアップロード

CSV 一括設定機能が新しくなりました。

X-MON3.0.6 と異なり、ホスト登録時に設定する内容は全て設定可能となり、監視パッケージの複数適応や、上書き保存も行えるようになりました。

また、サービスの登録も行えます。

CSV 一括設定では監視パッケージで使用しているマクロ文字は使用できません。



サービスCSVファイルインポート

CSVファイル名  
[ファイルを選択] 選択されていません

[ベースCSVダウンロード] [登録]

CSVファイル入力案内  
[監視プラグイン一覧](#)  
[入力例]

項目名	入力	入力内容	例
ホストID	必須	ホストIDを入力します。	OsakaRouter
サービスID	必須	サービスIDを入力します。	PING1
サービス監視用コマンド	(必須)	サービス監視用コマンドIDを指定します。 この項目は、新規登録時のみ必須項目となります。 チェックコマンドIDについては、 <a href="#">こちら</a> で確認できます。	check_xmon3_ping

他にも任意で設定可能な項目があります。詳細はヘルプをご確認下さい。

## 監視用コマンドの設定内容の表示

新たに「サービスの詳細」画面に、監視用コマンドの設定内容が表示されるようになりました。

入力時にマスキングされている項目につきましては、パスワードの文字数を知られないように固定で「●●●●●●●●●●」と表示されます。

**設定内容の表示**

詳細画面に設定内容が表示される為、編集画面へ遷移する必要がありません。

サービスの詳細

すべて開く

基本設定

ホストID(英数字)	Hyper-V
サービスID(英数字)	PING
サービス監視用コマンド	
PING監視	
ラウンドトリップタイムWARNINGしきい値(平均ms)	300
パケットロス率WARNINGしきい値(%)	30
ラウンドトリップタイムCRITICALしきい値(平均ms)	500
パケットロス率CRITICALしきい値(%)	50
PING送信回数(回)	5
タイムアウト(秒)	10
通知先グループ	無し
イベントハンドラ	有効にする
イベントハンドラコマンド	無し

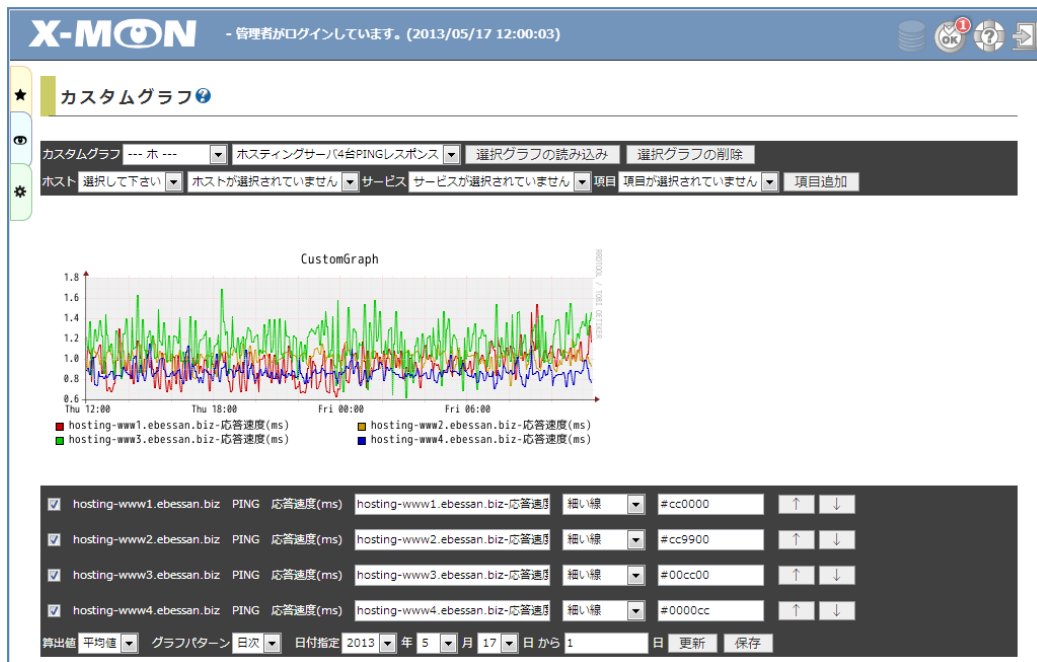
## MIB ファイルの追加

以下の MIB ファイルを新たに追加しました。

- VMware ESXi /VMware vCenter
- CISCO Catalyst WS-C4900M

## カスタムグラフの追加

複数のサービスから任意の項目を選択して線画するカスタムグラフ機能が追加されました。

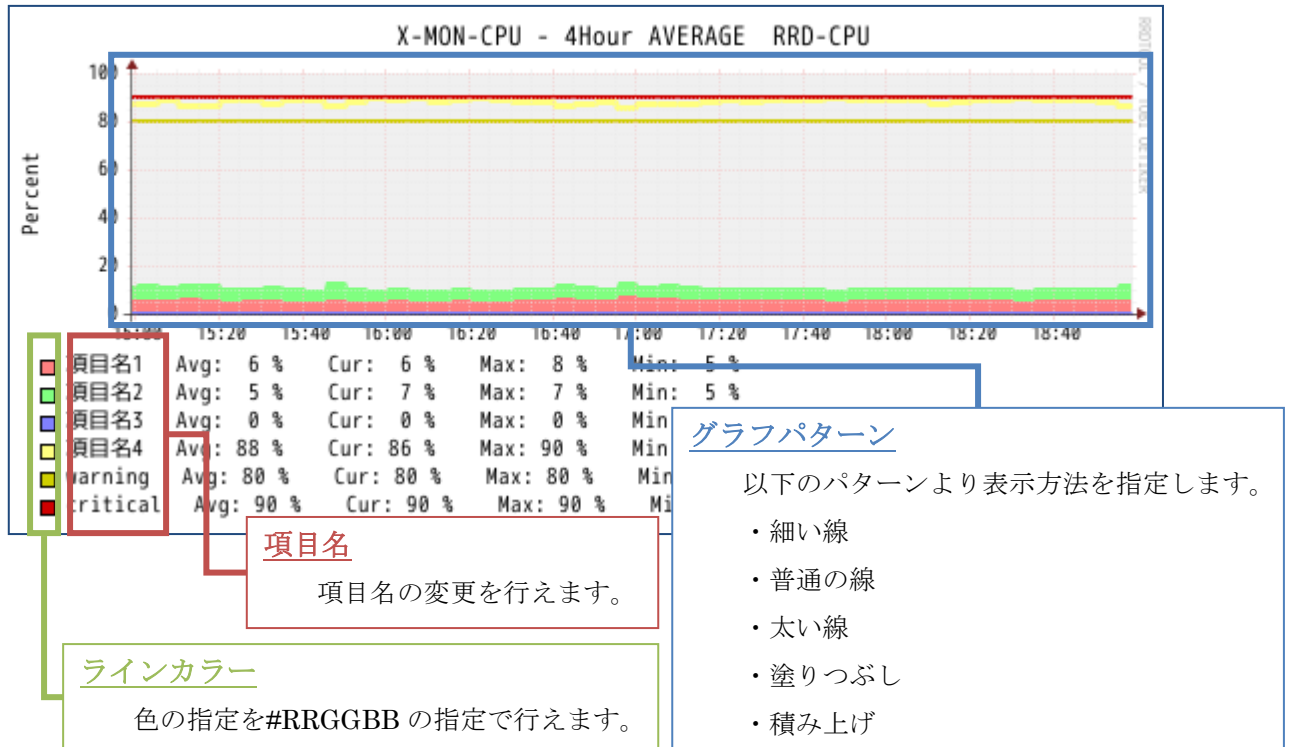


作成したカスタムグラフは組み合わせを保存することで、「簡易レポート」と「ダッシュボード」で利用することができます。



## グラフチューニングの追加

監視コマンドやサービス単位で、グラフの色や項目名を調整できるグラフチューニング機能が追加されました。



グラフの色や項目名以外にも「最大許容間隔」や「最小値」「最大値」の指定を行えます。

### ■ 最大許容間隔

データが RRD ファイルに渡される最大間隔で、この最大許容間隔以上に長い間隔でデータが渡された際には、データが入らなかった期間を全て nan とします。

### ■ 最小値

取得したデータが指定された最小値より小さな値の場合、nan とします。

### ■ 最大値

取得したデータが指定された最大値より大きな値の場合、nan とします。

## 監視パッケージ機能強化

ホストに設定されているサービスより監視パッケージを作成する機能が追加されました。



**ホストから監視パッケージの作成**

[ 監視パッケージの作成 ] ボタンをクリックするとホストに設定されているサービスから監視パッケージを作成するページへ遷移します。

監視パッケージによるサービスの登録

-- 選択して下さい --

サービスID	エスカレーション設定数	操作
<input type="checkbox"/> PING	有効: 0, 無効: 0	<a href="#">詳細表示</a> <a href="#">サービスエスカレーション設定</a>

1

戻る 削除 削除と承認

また、X-MON3.0.6 以前では、サービスが追加されているホストには監視パッケージの適用が行えませんでした。X-MON3.0.7 では既にサービスが登録されているホストにも監視パッケージの適用が行えます。

同名のサービスがホストと監視パッケージの両方に存在する場合は、監視パッケージ側のサービス情報が上書きされることはありません。ホストに存在するサービスの情報が優先されます。

## ショートカット機能

X-MON内のページをショートカットとして登録する機能が追加されました。

ソートや検索の内容も保持されますので、監視メニュー「サービス一覧表示」などでソートや検索を行った状態のページへワンクリックで遷移することが可能です。

### ショートカットアイコン

ショートカットに対応したページで表示されます。

アイコンをクリックすると現在表示されているページがショートカットとして登録されます。

登録されたショートカットはショートカットメニューより選択することが出来ます。

The screenshot shows the X-MON web interface. At the top, there is a navigation bar with the X-MON logo and a user login status. Below the navigation bar, there is a 'Shortcut Menu' (ショートカットメニュー) on the left side, which is highlighted in yellow. The menu items include 'ダッシュボード', 'サービス一覧表示', 'ホストグループ表示[グリッド表示]', and 'ショートカット管理'. In the main content area, there is a table with columns for 'DOWN', 'UNREACHABLE', 'UNKNOWN', and 'CRITICAL'. A red box highlights a 'Shortcut Icon' (ショートカットアイコン) in the top right corner of the main content area. A callout box points to this icon, explaining that clicking it registers the current page as a shortcut.

### ショートカットメニュー

「ショートカット」アイコンをクリックすると  
★「ショートカットメニュー」に登録されます。  
ショートカットの並び替え、削除、名称の変更を行う場合、「ショートカット管理」をクリックします。

以下が「ショートカット管理」です。

並び替え、削除、名称の変更を行った場合、[ 変更を保存する ]をクリックし情報の保存をお願い致します。

The screenshot shows the 'Shortcut Management' (ショートカット管理) page in X-MON. The page has a table with two columns: '名称' (Name) and '操作' (Action). The table contains three rows of shortcuts: 'ダッシュボード', 'サービス一覧表示', and 'ホストグループ表示[グリッド表示]'. Each row has three action buttons: '↑', '↓', and '削除' (Delete). Below the table, there are two buttons: 'リセット' (Reset) and '変更を保存する' (Save Changes).

名称	操作
ダッシュボード	↑ ↓ 削除
サービス一覧表示	↑ ↓ 削除
ホストグループ表示[グリッド表示]	↑ ↓ 削除

リセット 変更を保存する

## ホストの設定一括変更でロゴイメージが変更可能

3.0.7 より「ホスト設定一括変更」で「ロゴイメージ」項目の変更が可能になりました。

The screenshot shows the X-MON web interface. At the top, the header includes the X-MON logo, a user status message '- 管理者がログインしています。(2013/05/20 11:42:39)', and several utility icons. The main content area is titled 'ホスト設定一括変更 - ホストの一括編集'. Below the title is a 'すべて開く' button. The configuration is organized into sections: '対象ホスト', '基本設定', 'ホスト監視用コメント', and '親ホスト'. The '基本設定' section contains three main rows. The first row is '種別' with a dropdown menu set to '物理サーバ'. The second row is 'ロゴイメージ', which is highlighted with a red rectangular box; its dropdown menu is set to '不明' and has a large question mark below it. The third row is 'ホスト監視用コメント' with a checkbox and a dropdown menu set to 'PING監視(ホスト用)'. The '親ホスト' section at the bottom includes a vertical list of host icons, '↑(選択)' and '↓(外す)' buttons, and a '選択して下さい' dropdown menu.

## 変更箇所

### MENU 画面の変更

メニューが分割され、「ショートカットメニュー」「監視メニュー」「管理者メニュー」の3つになりました。



また、メニューに表示されている項目についても一部修正が行われています。

修正内容は下記の通りです。

- CSV一括設定 ⇒ 「設定一括変更」ページへ移動
- ホストの検出 ⇒ メニューの項目より削除。  
「ホスト管理」の「ネットワークからホストを検出する」から  
遷移については従来通り行えます。

## ヘッダーアイコンの変更

---

ヘッダーメニューに使用しているアイコンを変更しています。

アイコン	3.0.6	⇒	3.0.7
再起動		⇒	
承認案内		⇒	
設定		⇒	
ヘルプ		⇒	
ショートカット	未実装		
ログアウト		⇒	

---

## Nagios Core アップデート

---

Nagios バージョンを「3.4.4」より「3.5.0」へアップデートしました。

## ユーザ追加時の必須項目を変更

---

従来ではユーザ作成時に「E-MAIL アドレス」項目の入力が必須となっていましたが、3.0.7 より通知ユーザ権限以外のユーザについては「E-MAIL アドレス」項目の入力が任意となりました。

通知ユーザのみ「E-MAIL アドレス」項目または「携帯モバイル用 E-MAIL アドレス」項目どちらかの入力が必須となります。

## 重大な不具合

---

X-MON バージョン 3.0.7 で以下の重大な不具合を修正しました。

- パッケージアップデート時に `snmptt` パッケージがアップデートされてしまい、`Trap` を正常に監視できなくなる不具合の修正。
- 監視中に除外時間帯に差し掛かると、再チェック時刻が深夜 00:00 になる不具合の修正。
- `syslog` 管理にて通知先グループを編集し対象ホストを追加した場合、`Nagios` エラーが出力される不具合の修正。
- `SNMP` 監視 ネットワークインタフェース監視の設定項目に不必要な項目が追加されていた不具合の修正。
- `TRAFFIC` 監視(複数インターフェイス合計)において、`SNMP` を用いて取得したカウンター値が桁あふれを起こした場合のみ値がおかしくなる不具合の修正。
- 親ホストに設定されているホストを削除すると `Nagios` エラーが発生する不具合の修正。

## 不具合の修正

---

X-MON バージョン 3.0.7 で以下の不具合を修正しました。

### 監視・通知における修正

---

#### サービス一覧表示

---

- ・ホスト ID 検索で「.(ドット)」が正しく検索できない不具合の修正
- ・ホストやサービスを絞り込み表示している場合、対象のホストやサービスで障害が発生している時にアラートをあげるように修正

#### ホスト/サービス情報

---

- ・IE9 で「戻る」ボタンをクリックした際により詳細な遷移元に戻れるように修正
- ・「イベントログ」項目に NSClient++を用いた監視でかつ正常に監視が行えていない場合「ログ」項目が空白になる不具合を修正。
- ・ネットワークがループするホスト関係の場合、Nagios エラーが出力される為、エラーチェックにより登録できないようチェックの強化
- ・外部コマンド発行後の表示タブを、発行前と同じタブが開いているよう修正

#### 外部コマンド

---

- ・「今すぐ通知及びエスカレーションを実行する」を発行した際に警告灯が点灯しない不具合の修正
- ・「このホストの全サービスを即座に再チェックする」をクリックした際にアクティブチェックが無効のサービスまで強制的にチェックが走る不具合の修正

#### Web 改ざん警告管理

---

- ・警告を消去した際、即座に再チェックを行うように変更
- ・Web 改ざん監視(一括監視)でリンクを辿る対象の URL を HTML ファイル内の URL のみに変更

#### Windows イベントログ警告管理

---

- ・OS「Windows2003」のイベントログを監視した際に、時間が9時間遅れた値になっている不具合の修正



## 設定における修正

---

### ホスト管理

---

- ・ サービス登録時の監視用コマンド **WMI** を使用した監視に未入力や、誤ったしきい値の設定を行わないようチェックの強化
- ・ ホスト検出の入力欄に入力値チェックを追加
- ・ ネットワークがループするホスト関係の場合、**Nagios** エラーが出力される為、エラーチェックにより登録できないようチェックの強化

### 設定一括変更

---

- ・ 監視パッケージ管理 **SNMP** バージョンのマクロ指定が行えるように変更

### ユーザ管理

---

- ・ ホストグループを削除すると、ユーザの閲覧対象に含まれている場合も削除されてしまう不具合の修正

### アイコン管理

---

- ・ 縦幅が **40px** 未満の画像をアップロードした場合、正常に縮小されない不具合の修正

### SNMP TRAP 管理

---

- ・ **NET-SNMP-VACM-MIB**、**NET-SNMP-PASS-MIB** が一覧画面に表示されていない不具合の修正
- ・ 文字コード「**SJIS**」の **MIB** ファイルが「**MIB** ファイルの詳細」画面で文字化けしないように修正

### 構成管理

---

- ・ 設置ラックの選択で **1U** に **3** ホスト目を設置すると「ここに設置」のボタンがずれる場合がある
- ・ 設置ラック名が重複している場合、ラックの情報が正しく表示されない不具合の修正

### グラフ表示関連の修正

---

- ・ **NRPE** 経由での **SWAP** 監視のグラフが表示できない不具合の修正
- ・ しきい値および算出値の値を切り替えても別窓表示時に設定が反映されない不具合の修正
- ・ サービスリソース表示画面でしきい値および算出値の切り替えが行えるよう修正

### バージョン 2.2 からのコンバート処理の修正

---

- ・ アイコンが正常にコンバートされない不具合の修正。

## その他修正

---

- ・ 名称に;(セミコロン)を入力できないよう変更
- ・ システム情報に登録されたライセンスキーを誤ったライセンスキーで再登録を行った際、X-MON を操作できなくなる不具合の修正
- ・ ブラウザの **Referer** が無効の状態だとセットアップウィザードが完了しない不具合の修正
- ・ ドキュメント管理にアップロードを行ったファイル名に半角スペースが含まれていた場合、ダウンロード時に半角スペースが+(プラス)に置換される不具合の修正
- ・ バックアップバージョン **xb3** 以前のバックアップをリストアすると X-MON からメールの送信が行えなくなる不具合の修正